

プラン名:曼陀羅の里で歴史・文化に触れる「まち歩き」の旅

【1日目】

● 長野道麻績インター 着

↓ (移動時間 約5分)

○ 「法善寺」(麻績村)【所要時間:約1時間】

信濃三十三番観音札所の第一番。白鳳年間に創建。武田信玄が川中島合戦の勝利を祈願した四阿屋大権現が同境内にある。徳川家光が朱印八石を寄進したという記録も残っています。

聖観世音が奉安され人々の篤い信仰をあつめています。

↓ (移動時間 約5分)

○ 「信濃観月苑」(麻績村)【所要時間:約1時間】

いにしへの都人があこがれた信濃の月をそのままの姿で再現させています。赤松林の庭園を散策した後、お抹茶や点心などいかがでしょうか。

↓ (移動時間 約5分)

○ 麻績宿周辺の散策(麻績村)【所要時間:約1時間】

奈良時代には東山支道「麻績の駅」が設けられ、江戸時代には善光寺街道の宿場として賑わいをみせました。瓦葺きや土塀などから当時の面影がうかがえます。

↓ (移動時間 約10分)

○ 「シェンガルテン おみ」 宿泊(麻績村)

湯上りのお勧めは食堂でいただく厚生地の手作りピザ。



法善寺



信濃観月苑



麻績宿



シェンガルテン おみ

【2日目】

○ 「シェンガルテン おみ」

↓ (移動時間 約15分)

○ 「修那羅石仏群」(筑北村)【所要時間:約1時間】

万延元年(1860)修那羅大天武によって開かれたと伝えられています。信者から奉納されたたくさんの石神仏が神社の境内から裏山にかけて祀られています。

↓ (移動時間 約15分)

○ 「青柳宿」「切通し」(筑北村)【所要時間:約1時間】

青柳宿:青柳城のもとに栄えた善光寺街道の宿場街。当時そのままの家屋も数件残り、

現在もその面影を偲ぶことができます。

切通し:青柳宿をカギの手に通り抜けると、道幅が狭くなり両側から山がせまります。

巨大な石の山を切り開いてつくられた道です。

【その他:「やしょうま」づくり体験(筑北村)】

米の粉を練って固めたものに食紅を混ぜて色をつけ、それを組み合わせて「菊」「桜」「あやめ」

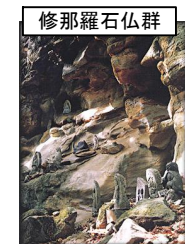
「人の顔」など模様をつくり、金太郎飴のように切って食べる村人に古くから受け継がれてきた郷土食。

↓ (移動時間 約40分)

○ 「かあさん家」 昼食(生坂村)

手打ちうどんや地元の食材を使ったふるさとの味が楽しめます。

地元の野菜や果物などが揃う直売所も併設しています。



修那羅石仏群



切通し



やしょうま



名物とうじうどん



(移動時間 約10分)

○ 「スカイスポーツ公園」(生坂村) 【所要時間:約2時間】

広く、緩やかな起伏はパラグライダーを楽しむのに最適で、村中心部を一望できる高台に整備されています。初心者から上級者までが楽しむことができ、ひとたび空に舞い上がれば雄大な北アルプス連邦や聖高原など素晴らしいロケーションが視界に飛び込んできます。(冬もOK)

パラグライダー



(移動時間 約15分)

○ 「乳房イチョウの紅葉」(生坂村) 【所要時間:約30分】

樹齢800有余年、高さ30m太さ7mの巨大なイチョウで幹枝に樹瘤が垂れ下がっているのが名の由来。小枝を煎じて飲むと乳の出が良くなると伝えられています。

乳房イチョウ



【その他オプション:1日登山(秋)】

○ 「京ヶ倉・大城登山」(生坂村)

標高は千メートルに及ばないものの、登り応えと頂上付近からの眺望は素晴らしく登山誌や記事にも取り上げられています。近年の里山人気で県内外から訪れる方が増えており、なかでもヒカゲツツジが群生していることからその点でも人気があります。

京ヶ倉・大城



(移動時間 国道19号経由 約30分)

● 長野道豊科インター 発

曼陀羅の里で歴史・文化に触れる「まち歩き」の旅マップ

